



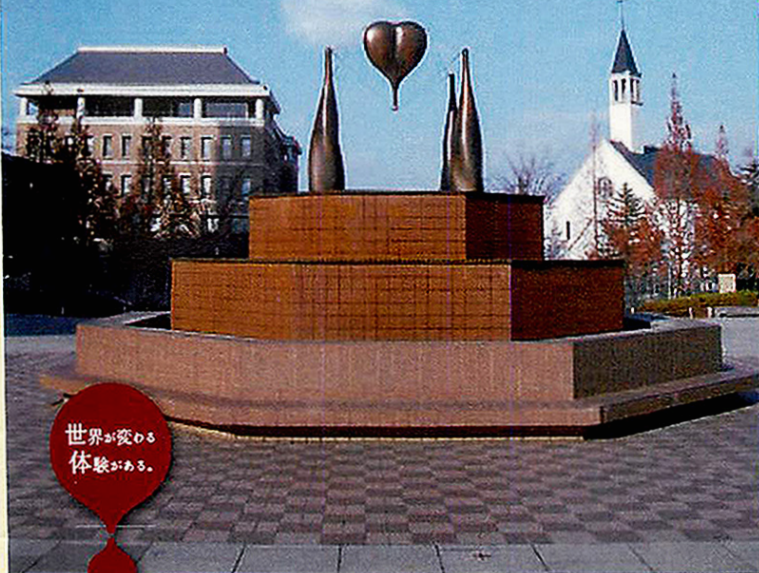
桃山学院大学

FD NEWS

2011

創刊号

Faculty Development



FD NEWSの創刊にあたって



全学FD推進委員長
副学長
経済学部 教授

竹原 憲雄

皆様ご存知のとおり、大学設置基準の改正により2007年度に大学院が、2008年度に学部のファカルティ・ディベロップメント (FD) が義務化され、さらに、中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」の中で、学生の「質の保証」に向けて「学士力の向上」、「単位の実質化」などが提案されました。

これを受け、本学では2008年度に共通教育を含めた教育改善に取り組む全学的な組織として全学FD推進委員会が組織されました。当委員会は各学部のFD活動推進委員会と連携し、教員の教育活動の活性化および能力開発に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的に活動を続けて参りました。当委員会では2002年度から春・秋学期「学生による授業評価アンケート」を実施し公開しております。また、2009年度からスチューデント・アシスタント (SA) の取り組みを試行的に実施し、2010年から全学FD講

演会も開催し、今年度は2回開催することができました。さらに、2012年度からは「SA制度に関する申合わせ事項」に沿った運用を行うことになりました。組織的教育改善が認証評価の重要課題となっている昨今、当委員会ではより一層の「FD」の「見える化」を図るため「FD News」を創刊することになりました。本学のFD活動の更なる活性化に向けて関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

もくじ

- FD NEWSの創刊にあたって
- 「授業改善のための「学生による授業評価」アンケート」を実施
- FD講演会報告
- 2011年度授業支援のための「SA」の導入について
- メンバー紹介
- 2011年度全学FD推進委員会
- 外部機関行事(フォーラム、研修会)への参加
- 編集後記

2011年度活動報告

「授業改善のための『学生による授業評価』アンケート」を実施しました。

桃山学院大学では、学生による授業評価の取組は、1996年度文学部より「試行」され、その後学部単位で徐々に拡大して実施されてきました。2002年度セメスター制度導入を期に全学的取組として、以後春・秋学期の年2回実施しています。

2011年度は春学期・秋学期とも各2週間（春学期科目は7月4日～16日、秋学期科目および通年科目は12月5日～17日）を設定して実施しました。春学期は、対象科目669クラス中638クラスが実施し実施率95.4%で、秋学期は、対象科目866クラス中813クラスが実施し、実施率は93.9%でした。

また、アンケート結果に対する授業担当者の「所見」も授業にかんする自己点検・評価活動の一環として位置づけて、提出を願っています。提出率は春学期34.8%、秋学期43.3%でした。

集計結果の公表は、印刷物（冊子「学生による『授業評価』報告」）およびHP（学内設置のパソコンのみ接続可）で公開しています。冊子体は図書館、兼任講師控室に配備してあります。また、全学FD推進委員会事務局で、1部を保管しています。

2012年度もひきつづき春学期・秋学期にアンケートを実施します。関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

2011年度春学期授業評価アンケート	
4月25日(月)	・全学FD推進委員会において授業評価アンケート実施期間確認
6月8日(水)	・教授会報告：授業評価アンケート実施日程について 7月4日(月)～16日(土)
6月16日(木)	・専任教員への実施要綱および補助員伺い調査票配布（300名以上履修登録科目のみ） ・兼任教員への実施要綱および補助員伺い調査票配布（300名以上履修登録科目のみ）
6月27日(月)	・補助員伺い調査票回収締切
7月4日(月)～16日(土)	授業評価アンケート実施 (回収ボックスは、①アンデレ館メールボックスルーム、②専任控室、③兼任講師控室に設置)
7月15日(金)	・「設問15」取り扱い回答締切
7月27日(水)	・アンケート実施分提出締切（最終）
8月8日(月)	・授業担当者へのアンケート集計表・自由記述送付、「所見」提出依頼
8月26日(金)	・授業担当者「所見」提出締切
9月下旬	・アンケート集計結果公表（ホームページ、冊子）

2011年度秋学期授業評価アンケート	
10月19日(水)	・全学FD推進委員会において授業評価アンケート実施期間確認
11月2日(水)	・教授会報告：授業評価アンケート実施日程について 12月5日(月)～17日(土)
11月21日(月)	・専任教員への実施要綱および補助員伺い調査票配布（300名以上履修登録科目のみ） ・兼任教員への実施要綱および補助員伺い調査票配布（300名以上履修登録科目のみ）
11月28日(月)	・補助員伺い調査票回収締切
12月1日(木)	・授業担当者にアンケート用紙配布
12月5日(月)～17日(土)	授業評価アンケート実施 (回収ボックスは、①アンデレ館メールボックスルーム、②専任控室、③兼任講師控室に設置)
12月16日(金)	・「設問15」取り扱い回答締切
2012年1月10日(火)	・アンケート実施分提出締切（最終）
1月23日(月)	・授業担当者へのアンケート集計表・自由記述送付、「所見」提出依頼
2月10日(金)	・授業担当者「所見」提出締切
3月下旬	・アンケート集計結果公表（ホームページ、冊子）

第1回 全学FD講演会を開催しました。



日時：2011年10月12日(水)14：00～15：00

『授業におけるSAの活用について』と題して10月12日(水)、本学聖ペテロ館5階第4会議室において第1回全学FD講演会を開催しました。今回は関西大学教育推進部教育開発支援センター助教の岩崎千晶氏から関西大学のラーニング・アシスタント(LA)の取り組みについてお話を伺いました。



講演会の内容について



- a. 期待以上
- b. ほぼ期待どおり
- c. 期待したほどではなかった

- TA、SA、LAの区別に関してのもう少し説明があればよかった。これらは講義改善よりは学生のコミュニティ形成により重要な意味がある様に思われる。この点に関しては大変興味深かった。
- 初年次教育の事例として興味深かった。テーマもその方がよかったのでは？
- 肖像権の処理の問題はあるが、LAが頑張っている画像、動画があれば説得力が持たせられた様に思います。
- 期待したことと内容が違っていた。教える立場(教員の立場)からの話とは違う内容でしたね。しかしSA、LAという取り組みがあることがわかって勉強になりました。
- 話の内容が具体的に面白かったです。早速、授業で活かせる内容もいくつかありました。(勿論そのままではないですが)

(ご意見・ご要望)

- LAの育成に力を注いでいる状況がよく分かった。単なる授業の手伝いではない。
- SA、LAは単なる「こまづかい」として、理解されないようにアナウンスする必要があると感じました。このようなことをするには、学部から独立した組織が必要ではないでしょうか。(学習支援、FD、カリキュラム開発(共通教育等))
- 話を聞くと、関西大ではLAがよく機能していることがよくわかった。関西大学ならば、LAの自主的な働きにも十分期待できる。むしろLAを活用する教員間で情報が共有できていないというのが問題になるでしょう。
- 本学国際教養のゼミは3・4年合同なので、先輩が後輩のモデルとなるのは、十分可能でLAがしている仕事はできていると思う。
- 初年次教育を考えるうえで、大変参考になりました。
- (三者協働型)とは、優れた発想。
- ハンドアウトのレジュメがあればよかった。

第2回 全学FD講演会を開催しました。

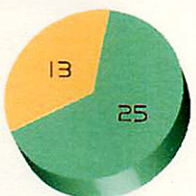


日時：2012年2月24日(金)11：00～12：45

『授業外学習を促すシラバスの書き方』と題して2月24日(金)、本学聖ペテロ館5階第6・7会議室において第2回全学FD講演会を開催しました。今回は愛媛大学教育企画室副室長准教授の佐藤浩章氏から学生を主語とするシラバスの書き方のコツについてのお話と事例を参考に個人ワークも行いました。



講演会の内容について



- a. 期待以上
- b. ほぼ期待どおり
- c. 期待したほどではなかった

- 桃山の学生の場合はシラバスを「読む」作業がぬけているので安直な導入は難しいだろう。
- 非常に有益で参考になった。
- 大変勉強になりました。今日の内容を欠席者の教員にも教えてあげたい。
- 参考になる点もあったが、桃山の学生のレベルにあった教育シラバスの説明がほしかった。
- 双方向的参加型でスキルの取得に役立ったと思う。
- 講師の方のサンプルシラバスが素晴らしく大変参考になります。教え方について普段考えていたこと、疑問を感じていたことをすっきり整理することが出来た。

(ご意見・ご要望)

- 「出席」を評価対象としない一本学のシラバス書式を参考する必要アリ。
- 久しぶりに中身の濃い話を聞いた。
- 具体的でわかりやすい内容です。演習もあり、即戦力となる講演だった。
- シラバスについての概念が大きく変わった。可能であれば「第二シラバス」にチャレンジしてみたいと思った。
- 指摘があったシラバスがフォーマットの改正を行ってほしい。講師の先生のシラバスを参考に作って第一回の講義の時に配布したい。
- 具体的にシラバスの工夫についてお話をいただき、大変ためになった。
- 活用できる内容もあった。講義の特性も考慮しながら、使えるものから導入していきたい。漠然と思っていた事柄が明確になった。(目標と目的の違いなど)
- 特に教育目標の話がおもしろかった。
- シラバスのしめきり前にやってほしい。
- 自分のシラバスの改善点がわかった。

2011年度授業支援のための「SA」を導入しました。

今年度、SAを導入した科目及び事業をお知らせします。2012年度から「SA（スチューデント・アシスタント）制度に関する申合わせ事項」に沿って運用します。

国際教養学部

英語特待生留学プログラム 担当教員（佐々木英哲）

社会学部

「社会調査A」（秋学期）：担当教員（岩田考）

「演習4」（通期）：担当教員（岩田考）

「社会福祉フィールドワーク01～04」：担当教員（竹内靖子）

法学部

「基礎演習」（通期）：担当教員（早川のぞみ）

「民法Ⅰ」（春学期）、「民法Ⅱ」（秋学期）

：担当教員（馬場巖、佐藤啓子）

経済学部

「経済学」（春学期）：担当教員（荒木英一）

2011年度全学FD推進委員会構成メンバーを紹介します。

〔委員長〕

竹原 憲雄 副学長 経済学部教授

〔委員〕

和栗 珠理（国際教養学部准教授）

役割分担：学生による授業評価アンケートの見直し

丸山 裕子（社会学部教授）

役割分担：学生による授業評価アンケートを授業改善につなげる体制作り

早川のぞみ（法学部講師）

役割分担：SA制度の規程化の検討

松岡 敬興（経済学部准教授）

役割分担：FD講演会の実施

信夫千佳子（経営学部教授）

役割分担：「三つの方針」を授業内容に反映させる体制作り

有川 康二（共通教育協議会選出国際教養学部教授）

役割分担：共通教育協議会の橋渡し

横田 千尋（学長事務課 全学FD推進委員会事務局）

辻川 和子（学長事務課 全学FD推進委員会事務局）

2011年度全学FD推進委員会を11回開催しました。

今年度は「学生による授業評価アンケート」の実施と回収方法の見直し、FD講演会の実施、各学部のSA制度の支援を中心に活動しました。

第1回

2011年4月25日（月）13時20分～14時25分開催

第2回

2011年5月23日（月）13時20分～14時25分開催

第3回

2011年6月20日（月）13時20分～14時40分開催

第4回

2011年7月4日（月）13時20分～14時40分開催

第5回

2011年9月21日（水）13時30分～15時05分開催

第6回

2011年10月19日（水）16時50分～18時10分開催

第7回

2011年11月16日（水）16時50分～17時35分開催

第8回

2011年12月21日（水）16時50分～17時50分開催

第9回

2012年1月18日（水）12時40分～13時20分開催

第10回

2012年2月22日（水）16時00分～17時50分開催

第11回

2012年3月22日（木）16時00分～（予定）

外部機関行事（フォーラム、研修会）に参加しました。

2011年9月2日（金）～3日（土）

日本リメディアル教育学会全国大会（九州大学）

2012年1月28日（土）

第6回FDフォーラム（関西大学教育開発支援センター）

2012年2月12日（日）

第83回公開研究会（京都大学高等教育研究開発センター）

2012年3月4日（日）

2011年度第17回FDフォーラム（大学コンソーシム京都）

編集後記

桃山学院大学「FD NEWS」第1号が創刊されました。2008年度から全学FD推進委員会が発足して4年が経ちました。本誌が本委員会の活動を知っていただき、さらに本学のFD活動が活発になっていくきっかけになれば幸いです。お気づきのことなど何でも結構ですので、全学FD推進委員会にご意見をお寄せ下さい。

（事務局 C.Y.）



桃山学院大学
St. Andrew's University

桃山学院大学全学FD推進委員会

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

TEL 0725-54-3131

e-mail: zfd-momo@andrew.ac.jp

発行日 / 2012年3月25日